

平成23年の10大ニュース

順位	項目	説明
1	東日本大震災	<p>3月11日14時46分18秒、太平洋三陸沖を震源として観測史上最大規模M9.0の地震が発生した。この地震により大津波が発生し、東北地方と関東地方の太平洋沿岸部に甚大な被害をもたらした。本市では、震度4を観測し、4月1日と7日にも大きな余震があった。幸い、大きな被害はなかったものの、長時間の停電や断水、生活必需品の停滞などが発生したことから、各公民館を避難所として開館し、発電機や毛布、非常食をはじめ災害用備蓄物資を配備した。</p> <p>震災後まもなく、多くの市民から被災地への救援物資や義援金が寄せられたほか、被災者の受け入れや職員や医師、保健師、消防士などの派遣を行い、被災地への支援を行った。6月には電力不足が懸念され、全市を挙げて節電に取り組み、7月には、本市で受け入れをしていた関東地方からの焼却灰から放射能セシウムが検出され、市民の強い反対で受け入れを中止した。</p> <p>また、震災の経験を踏まえ、10月に市立総合病院で地震災害に対応したトリアージ訓練を、11月には岩瀬地区中島団地を中心とした総合防災訓練を実施した。</p> <p>さらに、12月には、鳳鳴高校の縁で兵庫県篠山市と災害時の応援協定を締結した。</p>
2	市制施行60周年	<p>7月23日、市民文化会館を会場に市制施行60周年記念式典を挙行了。式典では、明石康氏（元国連事務次長）に大館市名誉市民の称号を、野口長三郎氏（市文化財保護協会会長）と村松進氏（忠犬ハチ公のふるさと大館親善大使）に感謝状を贈呈した。また、行政協力員14名に永年勤続者表彰を授与した。式典2部では、海上自衛隊大湊音楽隊による東日本大震災復興支援コンサートを開催した。そのほか、市制施行60周年記念を冠した様々な行事が開催された。</p>
3	統一地方選挙	<p>統一地方選挙が実施され、前半の県議選では現職の鈴木洋一氏、佐藤賢一郎氏と新人の虻川信一氏が当選。後半の市長・市議選では、市長には現職の小畑元氏が三つ巴を制して6選されたほか、市議は定数28人に対し39人が立候補、現職22人、元職4人、新人2人が当選した。</p>
4	県北部「日沿道」が大きく飛躍	<p>8月、日本海沿岸東北自動車道「二ツ井白神IC～あきた北空港IC間」を現道活用するルートで整備する方針が「社会資本整備審議会道路分科会第3回東北地方小委員会」において承認された。</p> <p>11月には、この間の「一般国道7号二ツ井今泉道路」の新規事業化が、「社会資本整備審議会道路分科会第7回事業評価部会」において妥当と判断され、さらに12月には、平成24年度政府予算案に盛り込まれることが決定、未開通区間の解消へ大きく前進した。</p> <p>また、12月17日には、大館西道路延伸部「二井田真中IC～大館南IC間」の2.6kmが新たに開通し、日沿道のネットワーク形成に大きな弾みとなった。</p>
5	鳳鳴 センバツ出場	<p>選抜高校野球「春の甲子園大会」へ、大館鳳鳴高校野球部が21世紀枠の推薦により、創部113年目にして初の甲子園大会に出場した。春夏通じて大館北鹿からの甲子園出場は初。古豪天理高校との試合では、大館市民のみならず、震災後の東北地方の多くの人に感動を与えた。</p>
6	中心市街地の活性化前進	<p>南地区では、平成21年に着手した「大町TKマンション」が完成し、9月から供用開始。中心市街地に所得制限のない市営住宅30戸を確保し、にぎわいの創出による地域の活性化と街なか居住が加速した。（12月20日現在の入居状況は30戸のうち25戸。）また、北地区では、御成町南地区区画整理事業が大きな分岐点である仮換地指定を終え、道路拡幅に向けた家屋解体工事に着手するなど、目に見える形で新たなまちづくりが始動した。</p>

7	誘致企業の進出、事業拡大が決定	<p>低迷する地域経済に追い打ちをかけるように発生した東日本大震災の影響の中、6月に株式会社サンテックスが新館工業団地に、8月には東北センバ株式会社が県営大館第二工業団地に進出を決定。既存企業のニプロファーマ株式会社も事業拡大を決定した。また、田代地域の菅谷地地内に誘致した養豚企業の株式会社シムコのGGPセンターが、平成24年5月の操業開始に向け、農場の建築工事に着手した。これにより、当初90人、将来的には170人の新たな雇用が見込まれる。</p>
8	「大館市得とく定期券」販売開始	<p>65歳以上と障害者を持つ市民を対象に、低額で路線バスを自由に利用できる大館市得とく定期券を発売し、延べ1,000人の市民が購入。今後も秋北バス株式会社と共同で、高齢者等の福祉向上と地域間交流促進を図る施策として事業の継続を目指す。</p>
9	有浦保育園新園舎完成	<p>環境に、そして人にやさしい、木質バイオマスとエコ素材を取り入れた有浦保育園新園舎が3月に完成し、定員を増員して保育を開始した。新園舎は、暖房にはペレットボイラー、床板にはグリーンボード、デッキにはAO-MWood、敷石にはスーパーソル、風除室壁面には十和田石を使用し、環境や地産地消にも配慮されている。</p>
10	全国高等学校総合体育大会ソフトテニス女子競技開催	<p>「北の空 君に無限の可能性」をスローガンに、平成23年度全国高等学校総合体育大会が北東北3県を会場に開催された。本市では、ソフトテニス女子競技が、8月1日からの4日間高館テニスコートで開催され、好天猛暑の中、白熱した試合が行われた。震災復興に向け「元気と勇気」を全国に発信し、大会運営では、多くの市内高校生もボランティアとして活躍した。選手、監督、来場者等含め2万人が集い、盛会裏に終了した。</p>